

川島町消防団だより

第10号

第二分団の車両が新しくなりました

令和2年12月13日(日)、川島消防署において、消防ポンプ車両の納車式が行われました。

川島町消防団の保有する消防ポンプ車両の老朽化に伴い、配備から15年が経過した第二分団の車両が更新されました。



納車式では、小川団長より第二分団の小川分団長に鍵が引き渡され、新車両がお披露目されました。

小川団長は「車両、装備、ポンプの取り扱い方法を熟知して、災害現場でその能力を十分に発揮していただきたい。」と語りました。

また、納車式後には、メーカー担当者から車両の取り扱いやポンプ・装備の操作方法について説明を受けました。

柳川分団長は「身の引き締まる思いです。この車両をしっかり使いこなし、地域住民の安心安全のため活動していきたい」と話しておりました。



歳末特別警戒

川島町消防団では毎年、年の瀬に特別警戒として、各分団が担当管内を巡回する活動を行っています。

これは、歳末を迎え、火気を使用する機会が多くなり、火災の発生が予想されることから、警備体制を強化することと住民の皆さんの防火意識の高揚を図ることを目的としております。

住民の皆さんには、火の取り扱いには十分に注意していただき、消防団とともに火災予防を心がけていただきますようよろしくお願いいたします。



新任団員実技研修

令和2年11月15日(日)、川越地区消防局にて「令和2年度新任団員実技研修」が実施されました。

この研修は、入団3年未満の消防団員を対象にしたもので、消防実技において基礎となる火災防御・救助法・普通救命講習などの重要な内容を学びます。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策で、研修を2回に分け、密にならないよう人数制限をし、消毒や健康管理を徹底して実施しました。

参加した新任団員たちは講義に熱心に耳を傾け、実技研修ではスキルを習得しようと積極的に取り組んでいました。

まだおぼつかない手つきではありましたが、早く消防団活動に慣れて、活躍してくれることを期待しています。



消防団とは？

みなさんが、知ってるようで意外と知らない川島町消防団の活動を少しご紹介しましょう。

消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。



火災や風水害などの災害活動をはじめ、川島町などが主催する訓練や行事に参加し、消火訓練や応急手当訓練などの指導を行っています。これらの活動をする消防団員は、災害を想定した実践的な教育・訓練を重ね技術の向上に努めています。

また、安心安全を守る「地域防災の要」として、火災予防には特に力を入れて活動しています。

消防団員募集

川島町消防団では随時消防団員を募集しております。18歳以上の川島町内に在住・在勤の方、私たちと一緒に活動しませんか？



「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神に基づき、年齢層は幅広く、会社員、自営業者、学生など様々な人が参加し活動しています。詳しくは川島消防署消防課までお問合せください。お待ちしております。

【問合せ】
川島消防署消防課 TEL 297-1979

新入団員紹介

川島町消防団に新たに仲間入りした団員を紹介します！



第二分団
細野団員

「この度、分団よりお声がけをいただき、入団を決意致しました。地域の皆様との出会いを大切に、消防団活動に取り組んでいきたいと思っております。」



第六分団
清水団員

「これから消防団員として、住民の方々の「安心安全」を守っていただけるよう頑張っていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。」